

平成15年7月4日

関係各位

東京都新宿区四谷一丁目2番8号
高千穂交易株式会社
代表取締役社長 山村秀彦
(登録銘柄コード・2676)
問い合わせ先
取締役
経営システム本部長 赤堀寛人
電話 03-3355-1189

光通信コンポーネントメーカー
米国アライアンス ファイバー オプティック プロダクツ社と
代理店契約締結。

高千穂交易株式会社(本社:東京都新宿区、社長:山村秀彦、資本金:7億9550万円、JASDAQ:2676)は光通信パッシブコンポーネントのメーカー 米国アライアンス ファイバー オプティック プロダクツ社 (Alliance Fiber Optic Products, Inc. 以下AFOP社) <NASDAQ:AFOP>と代理店契約を締結し、同社製品の販売を開始します。

AFOP社は卓越した DWDM技術を持ち、その技術をパッシブ製品へ流用し、低挿入損失/コンパクトな光パッシブコンポーネントを提供します。

今後、さらに加速するブロードバンドネットワークのインフラとして光通信は欠かせないものです。当社電子事業部では、ブロードバンドネットワーク関連のデバイス・コンポーネントに注力しており、今回の光パッシブ部品に強みを持つAFOP社との代理店契約締結によって、光通信関連製品群の拡販を目指します。

高千穂交易株式会社では、AFOP社の製品を販売するにあたり、3年後の売上3億円を見込んでいます。

アライアンス ファイバー オプティック プロダクツ社 (Alliance Fiber Optical Products, Inc.)
会社概要

- ・設立: 1995年12月
- ・CEO: Peter Chang
- ・本社: 735 North Pastoria Avenue, Sunnyvale, CA 94085, USA
- ・主要業務: 光パッシブコンポーネントの製造販売 / CWDM, DWDM, OADM, カブラ、光減衰器等
- ・従業員数: 340名
- ・URL: www.afop.com
- ・NASDAQ: AFOP

用語解説

* 光パッシブ：光受動部品。

* DWDM (Dense Wavelength Division Multiplexing) :

「高密度波長分割多重方式」の略。光ファイバーを使った通信技術の一つ。波長の違う複数の光信号を同時に利用することで、光ファイバーを多重利用する方式。同様の技術である WDM をより高密度化したもの。波長の異なる光ビームは互いに干渉しないという性質を利用している。この技術により、光ファイバ上の情報伝送量を飛躍的に増大させることができる。

このニュースリリースに対する問い合わせは

高千穂交易株式会社

広報 IR チーム 村木・臼井 まで

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-2-8

電話 03-3355-1189

Fax 03-3357-5303

E-mail muraki@takachiho-kk.co.jp